

POWERED BY **Dialog**

Internet image processor for prohibiting perusal of adult homepage to minor - has display controller that manages operation of display unit to display content of homepage when adult homepage is not detected and prohibits display of homepage if adult homepage is detected
Patent Assignee: YAZAKI CORP

Patent Family

Patent Number	Kind	Date	Application Number	Kind	Date	Week	Type
JP 11306113	A	19991105	JP 98110836	A	19980421	200004	B

Priority Applications (Number Kind Date): JP 98110836 A (19980421)

Patent Details

Patent	Kind	Language	Page	Main IPC	Filing Notes
JP 11306113	A		9	G06F-013/00	

Abstract:

JP 11306113 A

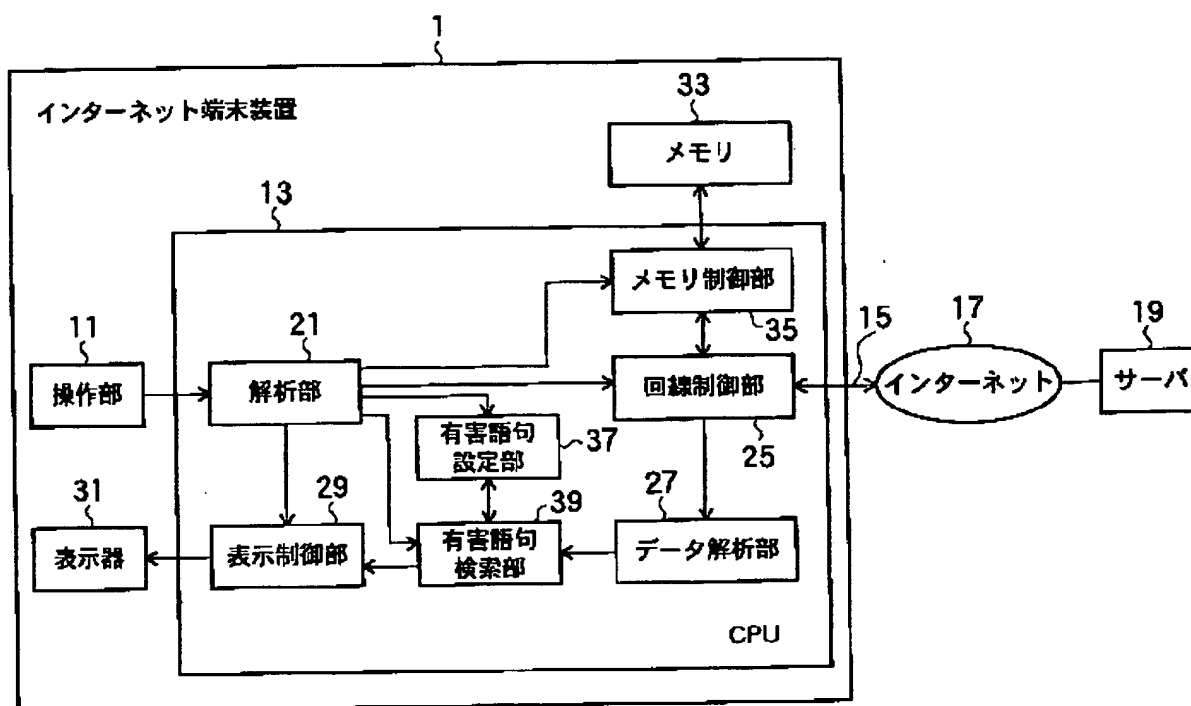
NOVELTY - A display controller (29) manages the operation of a display unit to display the content of a homepage when an adult homepage is not detected and prohibits the display of the homepage if an adult homepage is searched by a searching unit (39).

USE - For prohibiting perusal of adult homepage to minor.

ADVANTAGE - Does not require investigation of homepage content. Prohibits perusal of adult homepage to minor. Limits inaccurate access of homepage simultaneously.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the block diagram of an internet terminal equipment. (29) Display controller; (39) Searching unit.

Dwg.1/9



Derwent World Patents Index

© 2005 Derwent Information Ltd. All rights reserved.

Dialog® File Number 351 Accession Number 12872718

【特許請求の範囲】

【請求項1】 入力手段からアドレスを入力して回線及びインターネットを介してサーバに接続し、このサーバからホームページの内容を読み出して表示部に表示させる画像処理装置において、

未成年者にとって有害な1以上の有害語句を設定する設定手段と、

この設定手段から1以上の有害語句を入力し、前記アドレス及び前記ホームページ内の語句の中から前記1以上の有害語句を検索する検索手段と、

この検索手段により前記有害語句が検索された場合には前記ホームページの内容の前記表示部への表示を禁止し、前記有害語句が検索されない場合には前記ホームページの内容を前記表示部に表示させる表示制御手段と、を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】 前記表示制御手段は、前記有害語句が検索された場合には利用者に注意を促すためのメッセージを前記表示部に表示させることを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項3】 入力手段からアドレスを入力して回線及びインターネットを介してサーバに接続し、このサーバからホームページの内容を読み出して表示部に表示させる画像処理装置において、

前記ホームページの利用者毎に、前記ホームページへのアクセスを制限すべき語句をキーワードとして設定する設定手段と、

前記入力手段から前記利用者の情報が入力されたとき、入力された前記利用者の情報に対応するキーワードを前記設定手段から読み出し、読み出されたキーワードを前記ホームページ内の語句の中から検索する検索手段と、この検索手段により前記キーワードが検索された場合には前記ホームページの内容の前記表示部への表示を禁止し、前記キーワードが検索されない場合には前記ホームページの内容を前記表示部に表示させる表示制御手段と、を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項4】 入力手段からアドレスを入力して回線及びインターネットを介してサーバに接続し、このサーバからホームページの内容を読み出して表示部に表示させる画像処理装置において、

前記ホームページの利用時間毎に、前記ホームページへのアクセスを制限すべき語句をキーワードとして設定する設定手段と、

前記入力手段から前記利用時間の情報が入力されたとき、入力された前記利用時間の情報に対応するキーワードを前記設定手段から読み出し、読み出されたキーワードを前記ホームページ内の語句の中から検索する検索手段と、

この検索手段により前記キーワードが検索された場合には前記ホームページの内容の前記表示部への表示を禁止し、前記キーワードが検索されない場合には前記ホーム

ページの内容を前記表示部に表示させる表示制御手段と、を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項5】 前記表示制御手段は、前記キーワードが検索された場合には利用者に注意を促すためのメッセージを前記表示部に表示させることを特徴とする請求項3または請求項4記載の画像処理装置。

【請求項6】 アドレスを入力して回線及びインターネットを介してサーバに接続し、このサーバからホームページの内容を読み出して表示部に表示させる画像処理方法であって、

未成年者にとって有害な1以上の有害語句を設定する設定ステップと、

前記アドレス及び前記ホームページ内の語句の中から前記設定ステップで設定された1以上の有害語句を検索する検索ステップと、

前記有害語句が検索された場合には前記ホームページの内容の前記表示部への表示を禁止し、前記有害語句が検索されない場合には前記ホームページの内容を前記表示部に表示させる表示制御ステップと、を含むことを特徴とする画像処理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、操作部からアドレスを入力することにより、公衆回線及びインターネットを介してサーバに接続し、サーバからホームページの内容を読み出して表示部に表示させる画像処理装置及び画像処理方法に関し、特に未成年者にとって有害なホームページの閲覧を禁止するインターネット端末装置に関する。

【0002】

【従来の技術】インターネット通信を行なう従来のインターネット端末装置の一例を図8に示す。このインターネット端末装置の動作を説明すると、まず、操作部111から所望のアドレスを入力すると、そのアドレスは中央処理装置(CPU)113に入力される。そして、そのアドレスは解析部121により解析され、表示制御部129により表示データに変更され、表示器131に表示される。

【0003】また、解析部121で解析されたアドレスに基づき回線制御部125は公衆回線115、及びインターネット117を介して目的のサーバ119に接続する。そして、サーバ119内のホームページの内容は、公衆回線115、回線制御部125を介してデータ解析部127に送られる。データ解析部127で解析されたデータは表示制御部129で表示データに変更され、ホームページの内容が表示器131に表示される。

【0004】このようにインターネット端末装置において、所望のアドレスに対応するサーバ119のホームページにアクセスし、逐次、ホームページを閲覧することができる。このため、このようなインターネット端末装

置を用いて、未成年者等も自由に各種のホームページを閲覧することができる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、各種のホームページには未成年者にとっては有害な成人向け用のホームページもある。このため、従来のインターネット通信システムでは、未成年者にとって有害な情報があるかインターネット上のホームページを調査し、調査の結果、未成年者にとって有害であると判断されたホームページのURLを記録していた。

【0006】そして、図9のフローチャートに示すように、ホームページを読み出すための所望のアドレス（URL；Uniform Resource Locator）が入力されると（ステップS101）、入力されたURLが、事前調査済みの有害サイトのURLと一致するかどうかを判定する（ステップS103）。

【0007】入力されたURLが、事前調査済みの有害サイトのURLと一致しなければ、入力されたURLに対応するホームページが、未成年者にとって有害なホームページでないため、そのホームページの内容を表示する（ステップS105）。

【0008】一方、入力されたURLが、事前調査済みの有害サイトのURLと一致する場合には、入力されたURLに対応するホームページが、未成年者にとって有害なホームページであるため、そのホームページの内容の表示を禁止することで、未成年者にそのホームページの閲覧を禁止させるようにしていた。

【0009】しかしながら、従来のインターネット通信システムにあっては、未成年者にとって有害なホームページを事前に調査しなければならなかった。また、URLが新規登録となったり、あるいは、URLが変更された場合には、そのURLの新規登録または変更に対応させるために、インターネット上のホームページを再度、調査しなければならなかった。

【0010】本発明は、事前にホームページの内容を調査する必要がなく、アドレスが変更されていても、未成年者にとって有害なホームページの閲覧を禁止することができる画像処理装置及び画像処理方法を提供することを課題とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明は前記課題を解決するために以下の構成とした。請求項1の発明は、入力手段からアドレスを入力して回線及びインターネットを介してサーバに接続し、このサーバからホームページの内容を読み出して表示部に表示させる画像処理装置において、未成年者にとって有害な1以上の有害語句を設定する設定手段と、この設定手段から1以上の有害語句を入力し、前記アドレス及び前記ホームページ内の語句の中から前記1以上の有害語句を検索する検索手段と、この検索手段により前記有害語句が検索された場合には前

記ホームページの内容の前記表示部への表示を禁止し、前記有害語句が検索されない場合には前記ホームページの内容を前記表示部に表示させる表示制御手段とを備えることを特徴とする。

【0012】請求項1の発明によれば、設定手段が未成年者にとって有害な1以上の有害語句を設定すると、検索手段は、アドレス及びホームページ内の語句の中から1以上の有害語句を検索し、表示制御手段は、有害語句が検索された場合にはホームページの内容の表示部への表示を禁止し、有害語句が検索されない場合にはホームページの内容を表示部に表示させる。

【0013】従って、事前にホームページの内容を調査する必要がなく、アドレスが変更されていてもホームページへのアクセスが可能となり、また、未成年者にとって有害なホームページの閲覧を禁止することができる。

【0014】請求項2の発明では、前記表示制御手段は、前記有害語句が検索された場合には利用者に注意を促すためのメッセージを前記表示部に表示させることを特徴とする。

【0015】請求項2の発明によれば、有害語句が検索された場合には利用者に注意を促すためのメッセージを表示部に表示させるため、利用者である未成年者に対して有害なホームページの閲覧を諦めさせることができる。

【0016】請求項3の発明は、入力手段からアドレスを入力して回線及びインターネットを介してサーバに接続し、このサーバからホームページの内容を読み出して表示部に表示させる画像処理装置において、前記ホームページの利用者毎に、前記ホームページへのアクセスを制限すべき語句をキーワードとして設定する設定手段と、前記入力手段から前記利用者の情報が入力されたとき、入力された前記利用者の情報に対応するキーワードを前記設定手段から読み出し、読み出されたキーワードを前記ホームページ内の語句の中から検索する検索手段と、この検索手段により前記キーワードが検索された場合には前記ホームページの内容の前記表示部への表示を禁止し、前記キーワードが検索されない場合には前記ホームページの内容を前記表示部に表示させる表示制御手段とを備えることを特徴とする。

【0017】請求項3の発明によれば、設定手段がホームページの利用者毎に、ホームページへのアクセスを制限すべき語句をキーワードとして設定すると、検索手段は、入力手段から利用者の情報が入力されたとき、入力された利用者の情報に対応するキーワードを設定手段から読み出し、読み出されたキーワードをホームページ内の語句の中から検索し、表示制御手段は、キーワードが検索された場合にはホームページの内容の表示部への表示を禁止し、キーワードが検索されない場合にはホームページの内容を表示部に表示させる。

【0018】すなわち、利用者毎にキーワードを設定

し、ホームページの内容をキーワード検索することにより、ホームページへのアクセスを制限するため、ホームページの内容を調査する必要がなく、また、利用者毎に使用目的を制限することができる。

【0019】請求項4の発明では、入力手段からアドレスを入力して回線及びインターネットを介してサーバに接続し、このサーバからホームページの内容を読み出して表示部に表示させる画像処理装置において、前記ホームページの利用時間毎に、前記ホームページへのアクセスを制限すべき語句をキーワードとして設定する設定手段と、前記入力手段から前記利用時間の情報が入力されたとき、入力された前記利用時間の情報に対応するキーワードを前記設定手段から読み出し、読み出されたキーワードを前記ホームページ内の語句の中から検索する検索手段と、この検索手段により前記キーワードが検索された場合には前記ホームページの内容の前記表示部への表示を禁止し、前記キーワードが検索されない場合には前記ホームページの内容を前記表示部に表示させる表示制御手段とを備えることを特徴とする。

【0020】請求項4の発明によれば、設定手段がホームページの利用時間毎に、ホームページへのアクセスを制限すべき語句をキーワードとして設定すると、検索手段は、入力手段から利用時間の情報が入力されたとき、入力された利用時間の情報に対応するキーワードを設定手段から読み出し、読み出されたキーワードをホームページ内の語句の中から検索し、表示制御手段は、キーワードが検索された場合にはホームページの内容の表示部への表示を禁止し、キーワードが検索されない場合にはホームページの内容を表示部に表示させる。

【0021】すなわち、利用時間毎にキーワードを設定し、ホームページの内容をキーワード検索することにより、ホームページへのアクセスを制限するため、ホームページの内容を調査する必要がなく、また、同時に複数の利用者によるホームページの不正なアクセスを制限することができる。

【0022】請求項5の発明では、前記表示制御手段は、前記キーワードが検索された場合には利用者に注意を促すためのメッセージを前記表示部に表示させることを特徴とする。

【0023】請求項5の発明によれば、キーワードが検索された場合には利用者に注意を促すためのメッセージを表示部に表示させるため、利用者に対してホームページの不正なアクセスを諦めさせることができる。

【0024】また、請求項6の発明は、アドレスを入力して回線及びインターネットを介してサーバに接続し、このサーバからホームページの内容を読み出して表示部に表示させる画像処理方法であって、未成年者にとって有害な1以上の有害語句を設定する設定ステップと、前記アドレス及び前記ホームページ内の語句の中から前記設定ステップで設定された1以上の有害語句を検索する

検索ステップと、前記有害語句が検索された場合には前記ホームページの内容の前記表示部への表示を禁止し、前記有害語句が検索されない場合には前記ホームページの内容を前記表示部に表示させる表示制御ステップとを含むことを特徴とする。

【0025】請求項6の発明によれば、未成年者にとって有害な1以上の有害語句を設定し、アドレス及びホームページ内の語句の中から1以上の有害語句を検索し、有害語句が検索された場合にはホームページの内容の表示部への表示を禁止し、有害語句が検索されない場合にはホームページの内容を表示部に表示させるため、事前にホームページの内容を調査する必要がなく、アドレスが変更されていてもホームページへのアクセスが可能となり、また、未成年者にとって有害なホームページの閲覧を禁止することができる。

【0026】

【発明の実施の形態】以下、本発明の画像処理装置及び画像処理方法の実施の形態を図面を参照して詳細に説明する。画像処理装置は、例えば、サーバのホームページの内容を読み出して画面上に表示させることにより、ホームページの内容を利用者に閲覧させるインターネット端末装置に適用される。このインターネット端末装置は、未成年者にとって有害なホームページの画面上への表示を禁止することを特徴とするものである。

【0027】＜第1の実施の形態＞図1にインターネット端末装置の第1の実施の形態の構成ブロック図を示す。インターネット端末装置1には公衆回線15、インターネット17を介してサーバ19が接続される。

【0028】インターネット端末装置1は、所望のホームページを読み出すためのアドレスや未成年者にとって有害と思われる有害語句などの入力情報を入力する入力手段としての操作部11、この操作部11に接続されるとともに各部を制御するCPU13、このCPU13に接続される表示器31、CPU13に接続される記憶手段としてのメモリ33を有して構成される。ホームページには画像、文字等の語句、数字等が含まれる。

【0029】CPU13は、解析部21、回線制御部25、データ解析部27、表示制御部29、メモリ制御部35、有害語句設定部37、有害語句検索部39を有して構成される。

【0030】解析部21は、操作部11からの入力情報を解析し、解析された情報がアドレスである場合には、そのアドレスを回線制御部25、メモリ制御部35、及び有害語句検索部39に出力し、解析された情報が有害語句である場合には、その有害語句を有害語句設定部37に出力する。

【0031】回線制御部25は、解析部21で解析された情報がアドレスである場合にそのアドレスに基づき公衆回線15の回線接続を制御し、アドレスに対応するサーバ19のホームページをアクセスする。

【0032】データ解析部27は、回線制御部25を介してサーバ19から送られてくるホームページの内容を解析する。メモリ制御部35は、サーバ19からのホームページ（未成年者に対して有害なホームページを含む。）の内容をアドレスに対応させてメモリ33に書き込み制御したり、メモリ33に書き込まれたホームページの内容を読み出し制御したりする。

【0033】有害語句設定部37は、操作部11から入力された1つ以上の有害語句をキーワードとして設定するもので、図2に示すような有害語句テーブル38を有している。

【0034】図2に示す有害語句テーブル38は、キーワード番号（No）K1～Knと未成年者にとって有害な有害語句WD1～WDnとを1対1対応で記憶したものである。未成年者にとって有害な有害語句としては、例えば、覚醒剤、麻薬、性犯罪等の語句である。

【0035】有害語句検索部39は、解析部21で解析されたアドレスを入力するとともに、データ解析部27で解析されたホームページの内容を入力し、且つ有害語句設定部37から1つ以上の有害語句を入力する。有害語句検索部39は、入力されたアドレス及びホームページ内の語句の中に、前記入力された1つ以上の有害語句が含まれているか否かを判定し、有害語句が含まれている場合にはその有害語句を検索する。

【0036】表示制御部29は、有害語句が検索されない場合には、ホームページの内容を表示データに変更して表示器31に表示させ、有害語句が検索された場合には、ホームページの内容の表示を禁止し、利用者に注意を促すためのメッセージを表示器31に表示させる。

【0037】次に、このように構成された第1の実施の形態のインターネット端末装置の動作、すなわち、インターネット端末装置により実現される画像処理方法を図3のフローチャートを参照しながら説明する。

【0038】まず、操作部11から未成年者にとって有害な有害語句を入力すると、その有害語句は解析部21により解析され、解析された有害語句は有害語句設定部37内の有害語句テーブル38に設定される（ステップS11）。

【0039】次に、操作部11からホームページを閲覧するためのアドレス（URL）を入力すると、そのアドレスは解析部21により解析され、解析部21で解析されたアドレスに基づき回線制御部25は、公衆回線15、及びインターネット17を介して目的のサーバ19のホームページに接続する（ステップS13）。そして、サーバ19内のホームページの内容は、公衆回線15、回線制御部25、及びデータ解析部27を介して有害語句検索部39に送られる。

【0040】そして、有害語句検索部39は、解析部21で解析されたアドレスを入力し、データ解析部27で解析されたホームページの内容を入力し、且つ有害語句

設定部37から1つ以上の有害語句を入力する。

【0041】次に、有害語句検索部39は、入力されたアドレス（URL）及びホームページ内の語句の中に、前記入力された1つ以上の有害語句が含まれていないかを判定する（ステップS15）。

【0042】入力されたアドレス（URL）及びホームページ内の語句の中に、有害語句が含まれていない場合には（ステップS15のYES）、ホームページの内容を表示器31に表示する（ステップS17）。

【0043】また、有害語句が含まれている場合には（ステップS15のNO）、ホームページの内容の表示を禁止し、利用者に注意を促すためのメッセージを表示器31に表示する（ステップS19）。

【0044】このように、第1の実施の形態のインターネット端末装置によれば、有害語句を設定し、入力されたアドレス及びホームページ内の語句の中に、設定された有害語句が含まれているか否かを判定し、有害語句を検索する。

【0045】このため、事前にホームページの内容を調査する必要がなくなり、アドレスが変更されていてもホームページへのアクセスを制限することができる。従って、アドレス及びホームページの語句に有害語句がある場合には、未成年者にとって有害なホームページの閲覧を禁止することができる。

【0046】また、メモリ制御部35は、回線制御部25からホームページの内容を取り込み、アドレスとホームページの内容と対応させてメモリ33に記憶させる。その後、操作部11からアドレスを入力すると、メモリ制御部35は、入力されたアドレスに対応するホームページの内容をメモリ33から読み出す。そのホームページの内容は、回線制御部25、データ解析部27、表示制御部29を介して表示器31の画面上に表示される。

【0047】すなわち、メモリ33にホームページの内容を記憶させているため、メモリ33からホームページの内容を読み出せばよく、いちいち公衆回線15をサーバ19に接続してホームページの内容を読み出す必要がなくなり、回線接続時間を短縮できるとともに、これによって、回線使用料を節約することができる。

【0048】＜第2の実施の形態＞次に、本発明の画像処理装置の第2の実施の形態を説明する。画像処理装置は、例えば、インターネット端末装置に適用される。図4にインターネット端末装置の第2の実施の形態の構成ブロック図を示す。

【0049】このインターネット端末装置は、利用者毎や利用時間毎にキーワードを設定し、ホームページの内容の中から、設定されたキーワードを検索することにより、ホームページへのアクセスを制限することとを特徴とするものである。

【0050】インターネット端末装置1aは、操作部11a、この操作部11aに接続されるとともに各部を制

御するCPU13a、このCPU13aに接続される表示器31、CPU13aに接続されるメモリ33を有して構成されている。

【0051】操作部11aは、所望のホームページを閲覧するためのアドレスを入力したり、ホームページの内容の中の制限すべき語句（例えば、未成年者にとって有害な語句等）をキーワードとして入力する。操作部11aは、キーワードを利用者毎に入力したり、キーワードを利用時間毎に入力する。また、操作部11aは、ホームページの利用者（例えば、利用者の名前、利用者のコード番号）または利用時間を入力する。

【0052】CPU13aは、解析部21a、回線制御部25、データ解析部27、表示制御部29a、メモリ制御部35、キーワード設定部41、キーワード検索部43を有して構成されている。

【0053】解析部21aは、操作部11aからのアドレスキーワード等の入力情報を解析し、解析された情報がアドレスである場合には、そのアドレスを回線制御部25、メモリ制御部35に出力し、解析された情報がキーワードである場合には、そのキーワードをキーワード設定部41に出力する。

【0054】キーワード設定部41は、操作部11aから入力されたキーワードを利用者毎に設定したり、キーワードを利用時間毎に設定する。図2に利用者毎にキーワードを設定した利用者テーブルを示す。図3に利用時間毎にキーワードを設定した利用時間テーブルを示す。

【0055】図2に示す利用者テーブル42aは、利用者US1～USnとキーワードKWD1～KWDnとを1対1対応で記憶したものである。キーワードとしては、例えば、未成年者にとって有害な語句等である。図3に示す利用時間テーブル42bは、利用時間t₁～t_nとキーワードKWD11～KWD1nとを1対1対応で記憶したものである。

【0056】キーワード検索部43は、ホームページを閲覧する際に操作部11aから利用者または利用時間を入力し、データ解析部27で解析されたホームページの内容を入力する。キーワード検索部43は、キーワード設定部41を参照して、操作部11aから入力された利用者または利用時間に対応するキーワードを読み出し、読み出されたキーワードがホームページ内に含まれているか否かを判定し、キーワードが含まれている場合にはそのキーワードを検索する。

【0057】表示制御部29aは、キーワードが検索されない場合には、ホームページの内容を表示データに変更して表示器31に表示させ、キーワードが検索された場合には、ホームページの表示を禁止し、利用者に注意を促すためのメッセージを表示器31に表示させる。

【0058】なお、回線制御部25、データ解析部27、メモリ制御部35は、図1に示す第1の実施の形態のインターネット端末装置において説明したので、こ

では、その説明は省略する。

【0059】次に、このように構成された第2の実施の形態のインターネット端末装置の動作、すなわち、インターネット端末装置により実現される画像処理方法を図7のフローチャートを参照しながら説明する。

【0060】まず、操作部11aから利用者、利用時間毎にキーワードを入力すると、利用者、利用時間毎のキーワードは解析部21aにより解析され、解析された利用者毎のキーワードは、キーワード設定部41内の利用者テーブル42aに設定され、利用時間毎のキーワードは、利用時間テーブル42bに設定される（ステップS51）。

【0061】次に、利用者がホームページを閲覧する場合には、操作部11aから利用者または利用時間を入力する（ステップS53）。すると、キーワード検索部43は、解析部21aを介して操作部11aから利用者または利用時間を入力し、キーワード設定部41を参照して、操作部11aから入力された利用者または利用時間に対応するキーワードがあるかどうかをチェックし、キーワードがある場合には、そのキーワードを読み出す。

【0062】例えば、操作部11aから利用者US1が入力された場合には、図2に示す利用者テーブル42aを参照して、利用者US1に対応するキーワードKWD1が読み出される。なお、利用者テーブル42aに設定されていない利用者が入力された場合には、その利用者に対応するキーワードが設定されていないため、キーワードは読み出されない。

【0063】また、例えば、操作部11aから利用時間t₁が入力された場合には、利用時間テーブル42bを参照して、利用時間t₁に対応するキーワードKWD11が読み出される。なお、利用時間テーブル42bに設定されていない利用時間が入力された場合には、その利用時間に対応するキーワードが設定されていないため、キーワードは読み出されない。

【0064】次に、操作部11aからホームページのアドレス（URL）を入力すると（ステップS55）、そのアドレスは解析部21aにより解析され、解析部21aで解析されたアドレスに基づき回線制御部25は、公衆回線15、及びインターネット17を介して目的のサーバ19のホームページに接続する。そして、サーバ19内のホームページの内容は、公衆回線15、回線制御部25、及びデータ解析部27を介してキーワード検索部43に送られる。

【0065】そして、キーワード検索部43は、データ解析部27で解析されたホームページの内容を入力し、且つキーワード設定部41から利用者または利用時間に対応するキーワードを入力する。

【0066】次に、キーワード検索部43は、ホームページ内に、前記入力されたキーワードが含まれているか否かを判定する。すなわち、ホームページ内からキー

ードが検出されたかどうかをチェックする（ステップS 5 7）。

【0067】 ホームページ内の語句の中に、キーワードが検出されない場合には（ステップS 5 7のNO）、ホームページをアクセスし（ステップS 5 9）、ホームページの内容を表示器31に表示する。

【0068】 また、キーワードが検出された場合には（ステップS 5 7のYES）、利用者に注意を促すためのメッセージを表示器31に表示し（ステップS 6 1）、ホームページの不正なアクセスを禁止する。

【0069】 このように、第2の実施の形態のインターネット端末装置によれば、利用者または利用時間毎にキーワードを設定し、ホームページ内から設定されたキーワードを検索する。このため、事前にホームページの内容を調査する必要がなくなり、ホームページへのアクセスを制限することができる。

【0070】 また、利用者毎に個別にキーワードを設定しているため、例えば、1台のインターネット端末装置を複数の利用者で使用する場合には、利用者毎に使用目的を制限することができる。

【0071】 また、利用時間毎にキーワードを設定しているため、同時に複数の利用者による不正なホームページへのアクセスを制限することができる。

【0072】 なお、本発明は、第1の実施の形態及び第2の実施の形態のインターネット端末装置に限定されるものではなく、発明の技術的思想を逸脱しない範囲で、種々変形して実施可能であるのは勿論である。

【0073】

【発明の効果】 請求項1の発明によれば、設定手段が未成年者にとって有害な1以上の有害語句を設定すると、検索手段は、アドレス及びホームページ内の語句の中から1以上の有害語句を検索し、表示制御手段は、有害語句が検索された場合にはホームページの内容の表示部への表示を禁止し、有害語句が検索されない場合にはホームページの内容を表示部に表示させる。

【0074】 従って、事前にホームページの内容を調査する必要がなくなり、アドレスが変更されていてもホームページへのアクセスが可能となり、また、未成年者にとって有害なホームページの閲覧を禁止することができる。

【0075】 請求項2の発明によれば、有害語句が検索された場合には利用者に注意を促すためのメッセージを表示部に表示させるため、利用者である未成年者に対して有害なホームページの閲覧を諦めさせることができる。

【0076】 請求項3の発明によれば、利用者毎にキーワードを設定し、ホームページの内容をキーワード検索することにより、ホームページへのアクセスを制限するため、ホームページの内容を調査する必要がなく、また、利用者毎に使用目的を制限することができる。

【0077】 請求項4の発明によれば、利用時間毎にキ

ーワードを設定し、ホームページの内容をキーワード検索することにより、ホームページへのアクセスを制限するため、ホームページの内容を調査する必要がなく、また、同時に複数の利用者によるホームページの不正なアクセスを制限することができる。

【0078】 請求項5の発明によれば、キーワードが検索された場合には利用者に注意を促すためのメッセージを表示部に表示させるため、利用者に対してホームページの不正なアクセスを諦めさせることができる。

【0079】 請求項6の発明によれば、未成年者にとって有害な1以上の有害語句を設定し、アドレス及びホームページ内の語句の中から1以上の有害語句を検索し、有害語句が検索された場合にはホームページの内容の表示部への表示を禁止し、有害語句が検索されない場合にはホームページの内容を表示部に表示させるため、事前にホームページの内容を調査する必要がなく、アドレスが変更されていてもホームページへのアクセスが可能となり、また、未成年者にとって有害なホームページの閲覧を禁止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の画像処理装置が適用されたインターネット端末装置の第1の実施の形態の構成ブロック図である。

【図2】 有害語句テーブルの内容を示す図である。

【図3】 第1の実施の形態のインターネット端末装置の動作を示すフローチャートである。

【図4】 本発明の画像処理装置が適用されたインターネット端末装置の第2の実施の形態の構成ブロック図である。

【図5】 利用者テーブルの内容を示す図である。

【図6】 利用時間テーブルの内容を示す図である。

【図7】 第2の実施の形態のインターネット端末装置の動作を示すフローチャートである。

【図8】 従来のインターネット端末装置の一例を示す構成ブロック図である。

【図9】 従来のインターネット端末装置における未成年者に対する有害なホームページの閲覧禁止を説明するためのフローチャートである。

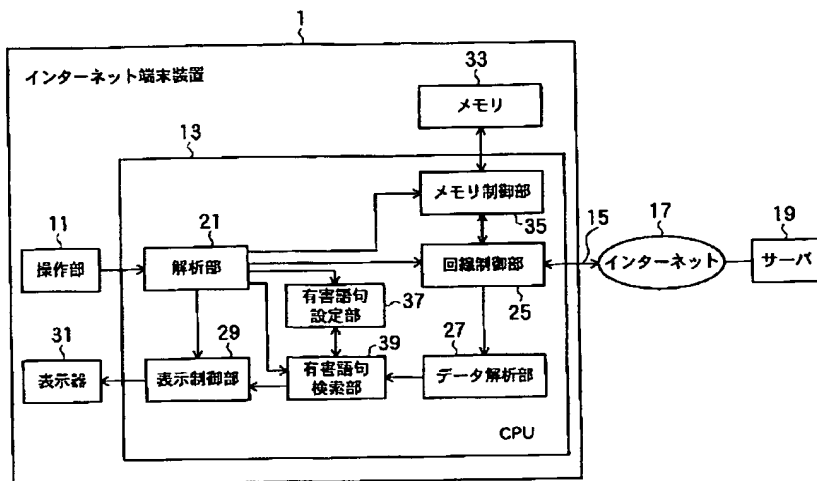
【符号の説明】

- 1 インターネット端末装置
- 11 操作部
- 13 CPU
- 15 公衆回線
- 17 インターネット
- 19 サーバ
- 21 解析部
- 25 回線制御部
- 27 データ解析部
- 29 表示制御部
- 31 表示器

- 3 3 メモリ
- 3 5 メモリ制御部
- 3 7 有害語句設定部
- 3 8 有害語句テーブル
- 3 9 有害語句検索部

- 4 1 キーワード設定部
- 4 2 a 利用者テーブル
- 4 2 b 利用時間テーブル
- 4 3 キーワード検索部

【図 1】



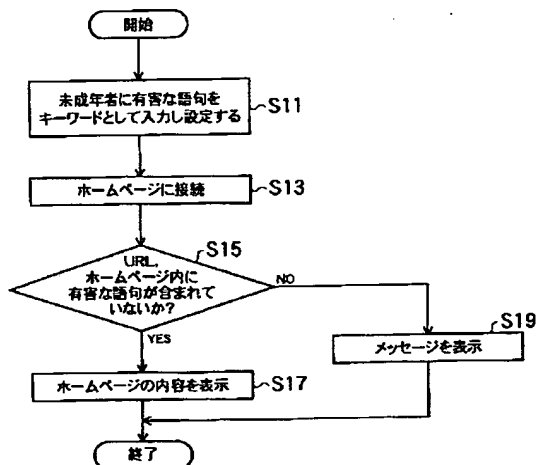
【図 2】

38 有害語句テーブル

キーNo	有害語句
K1	WD1
K2	WD2
K3	WD3
K4	WD4
...	...
Kn	WDn

【図 3】

【図 5】



42a 利用者テーブル

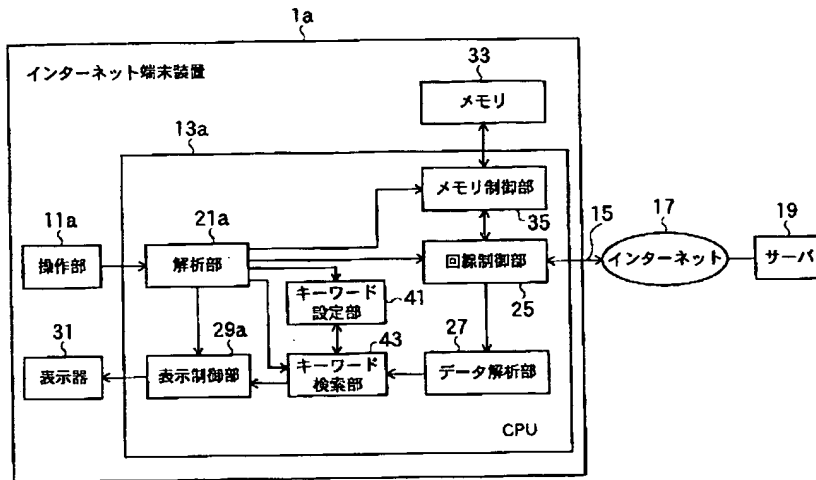
利用者	キーワード
US1	KWD1
US2	KWD2
US3	KWD3
...	...
USn	KWDn

【図 6】

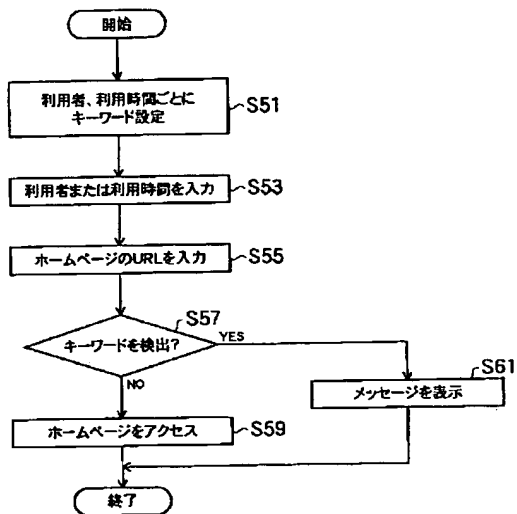
42b 利用時間テーブル

利用時間	キーワード
t1	KWD11
t2	KWD12
t3	KWD13
...	...
tn	KWD1n

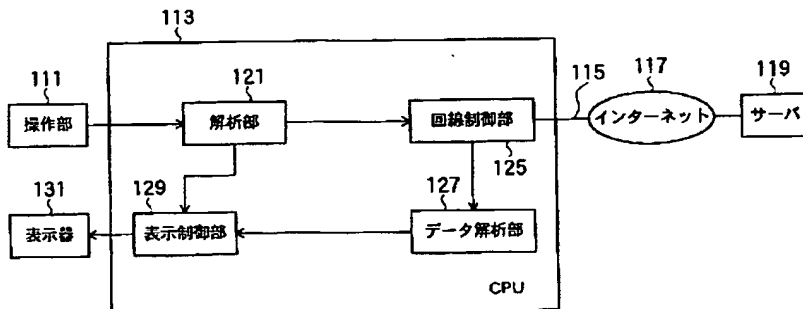
【図4】



【図7】



【図8】



【図9】

